

環境省における熱中症に関する取組について

1. 熱中症環境保健マニュアルの作成・配布（参考 1）

- 環境省においては、平成 17 年度より、熱中症についての新しい科学的知見や関連情報を紹介することを目的とし、熱中症に関する保健指導マニュアルを作成し、毎年最新の知見を踏まえて更新を行っている。平成 20 年 6 月改訂版からは、更に広く一般国民へ普及することを意識してタイトルを「熱中症環境保健マニュアル」と改めたところ。
- 作成したマニュアルは、関係省庁の協力を得て、全国の保健所等に配布するとともに、環境省のホームページ (http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html) で公開して普及を図っている。
- 平成 20 年 6 月に改訂した「熱中症環境保健マニュアル」は、全国へ約 15,000 部配布した。なお、熱中症による死亡に高齢者が多いことから、平成 20 年度は老人関係の施設に重点的に配布した。

2. 熱中症予防普及啓発ポスターの作成・配布

- 平成 19 年 6 月に、熱中症予防普及啓発ポスターを作成し、関係省庁の協力を得て、全国の学校や保健所等に配布するとともに、環境省のホームページ (http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html) で公開し、熱中症予防のための啓発を行っている。

3. 政府公報

- 熱中症の多発時期（例年 6 月～8 月頃）に、内閣官房政府広報室の共同利用媒体を利用して行われる政府公報を通じて熱中症予防の呼びかけを行っている。

4. 熱中症予防情報サイトの公開（参考 2）

- 平成 18 年度（平成 17 年度は試験運用）より、熱中症予防情報サイトを公開し、WBGT（暑さ指数）の観測結果、予報値及び熱中症患者数等を掲載し、熱中症についての正しい知識の普及や熱中症を予防するための情報提供を図っている。
- 平成 20 年度は、熱中症予防情報サイトを紹介する名刺サイズのポスタ

一を作成し、サイトの周知に努めているところ。

5. 地球温暖化影響・適応研究委員会における検討

(参考3-1、3-2、3-3)

- 平成19年度より、我が国と途上国における地球温暖化の影響に関する科学的知見を集約し、今後の効果的・効率的な適応策を実現するための検討を行った。平成20年6月に取りまとめられた報告書では、将来的に暑熱の影響により熱中症患者数は増加することが予測され、高齢者、特に高齢者単独世帯への対策等が今後の課題としてあげられている。

6. 熱中症の予防に関するシンポジウムの開催(参考4)

- 広く熱中症関係の情報を国民に提供し、対策の充実を図ることを目的とし、一般国民向けのシンポジウムを平成20年6月30日に開催した。シンポジウムの様子や講演で使用したスライドについては、今後、環境省のホームページに掲載する予定である。